

# 【校長室から】

No.19

H30年7月13日(水) 土佐町小中学校 谷内宣夫



## 錦織 圭選手

小学校卒業文集より

### 「ぼくの夢」 錦織 圭

この6年間で一番思い出に残ったことはテニスで日本一になったことです。

練習で一生懸命やった結果が出たと思います。

全国選抜や全国小学校大会、全日本ジュニアの3つの試合で優勝しました。

1試合1試合を「絶対勝つぞ」と思ってやりました。そして「優勝」まで行けた時は、すごくうれしかったです。

僕はテニスのラリーが長く激しく続くところが好きです。いろいろなコースに打ちわけ、深く打ったり短く打ったりします。チャンスボールがきた時、強いボールを打つのが好きです。

決まった時はすごく気持ちがいいです。

このショットがいつも打てるように練習していきたいです。試合に出ることで友達が増えました。

友達が増えたおかげでいろいろな話をしたり、一緒に練習したりできます。それもテニスが好きの一つです。

これからはだれにも負けないように、苦しい練習も絶対にあきらめずに全力で取り組んでいこうと思います。

夢は世界チャンピオンになることです。  
夢に向かって一步一步頑張っていきます。



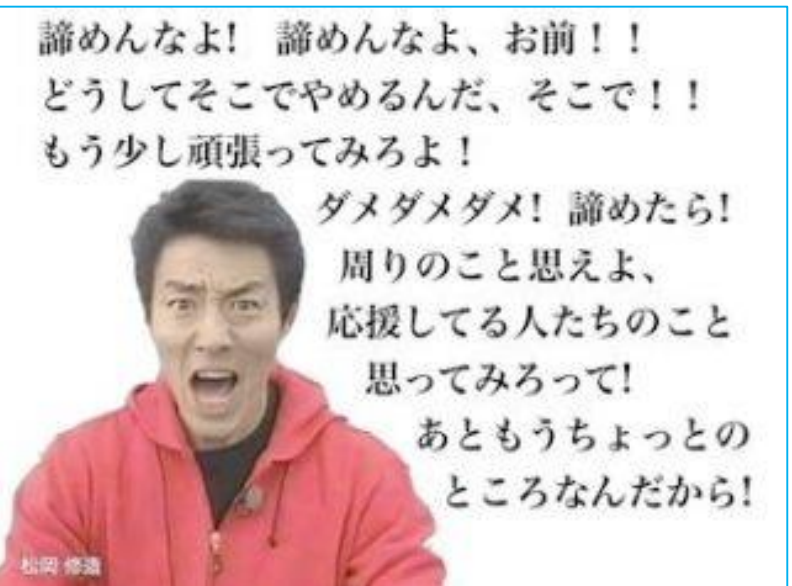
今、ウィンブルドン選手権大会が行われていますが、2014年「全米オープンテニス大会」において、日本人として初めて決勝に勝ち進んだ錦織圭選手の戦いぶりに感動した人も多いのではないのでしょうか。

28歳の錦織選手が12歳の時に書いた作文と川柳です。将来の自分をイメージした明確な目標を持っていることが成功への第1歩なのではないのでしょうか。

同選手の出身地である島根県と松江市から、県民・市民栄誉賞の授与の打診に、錦織選手は現時点では辞退したい、

「世界ランキング1位などの目標があり、夢に向かって努力している最中。何かを成し遂げ、キャリアに区切りをつけた時が(受賞に)ふさわしいのでは」とするメッセージを県と市に伝えたそうです。

### 生き方・考え方がカッコイイですね！！



錦織選手の師匠である「松岡修造さん」からの熱いメッセージがネットにありましたので紹介します。